くのいち精油按摩治療
フルカラー
75P

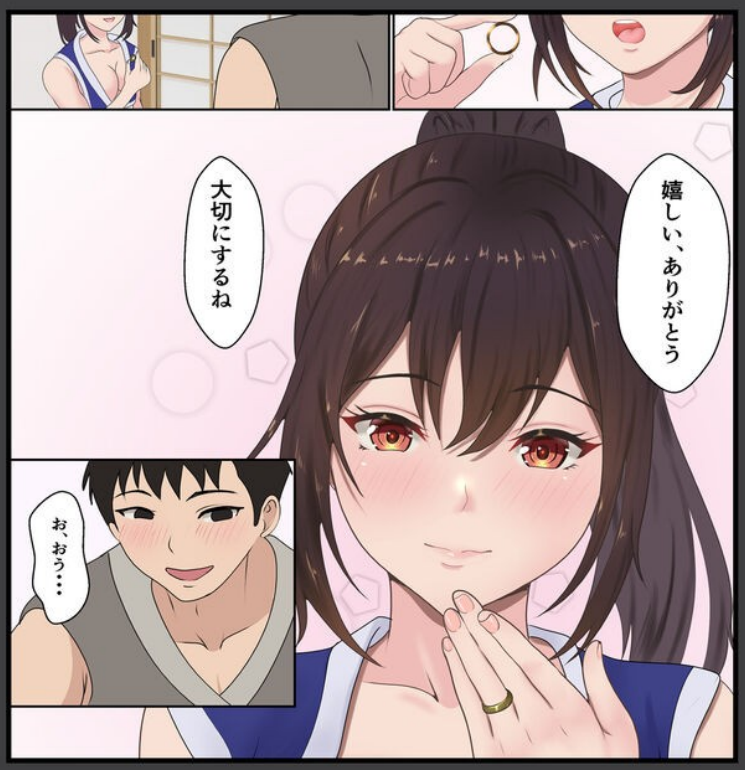
前作のあらすじ

時は戦国時代。
天下統一を目指す
大名の覇道を支えるため、
才能のある孤児を集め、
忍びを育成する里があった。

幼少期より共に育ち、
訓練をしてきた新蔵（しんぞう）と紫苑（しおん）。

同い年の二人は年頃になれば
房中術の修行も共にすることになる。

思春期にさしかかり、お互いを異性として
意識するようになっていった。

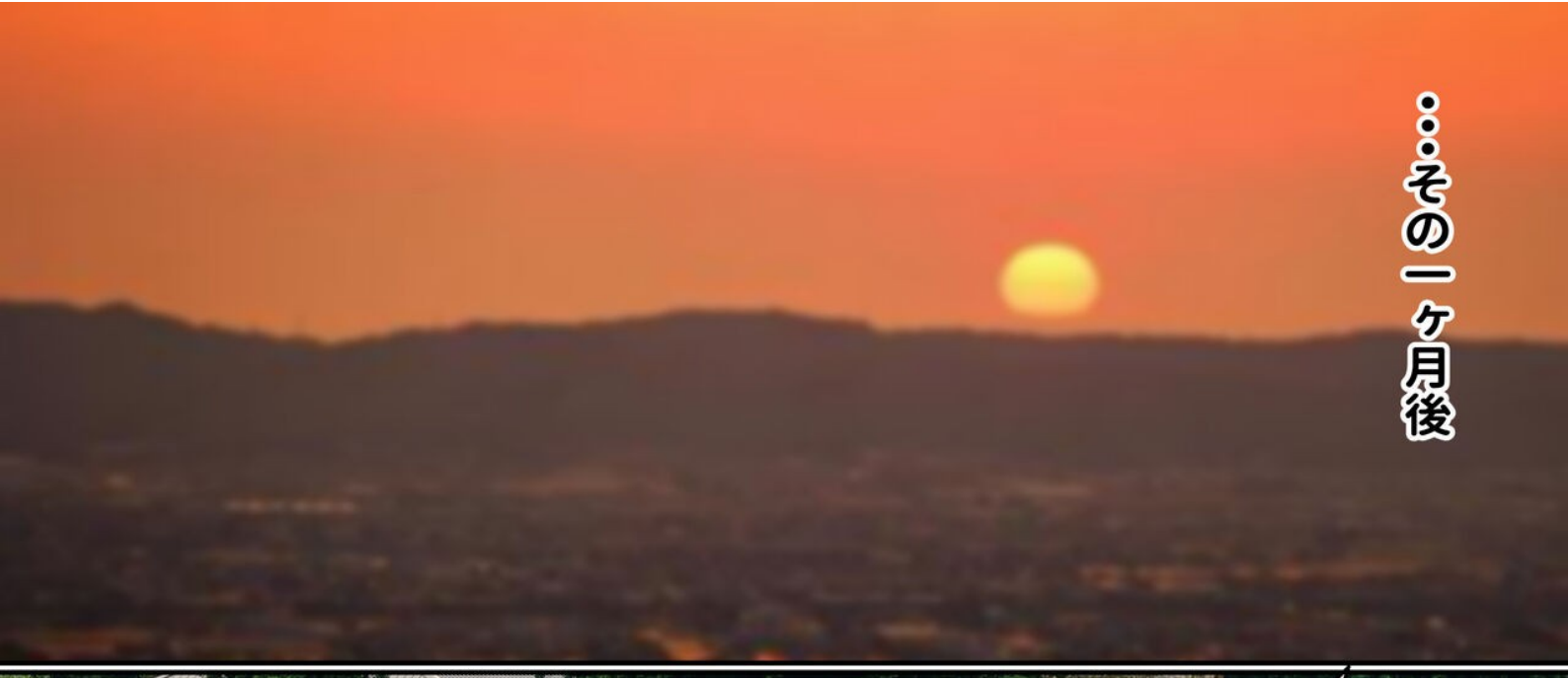


しかし、忍びとしての才能に溢れる紫苑は、
通例よりも早く房中術修行を
始めることになる。
師匠は修行相手として、新蔵の実兄である
ひゅうがを指名したのだった。

師匠と新蔵が立ち合う中、
処女を棄てる紫苑。
次第に紫苑は男女交合の道でも
突出した才能を見せるようになる。

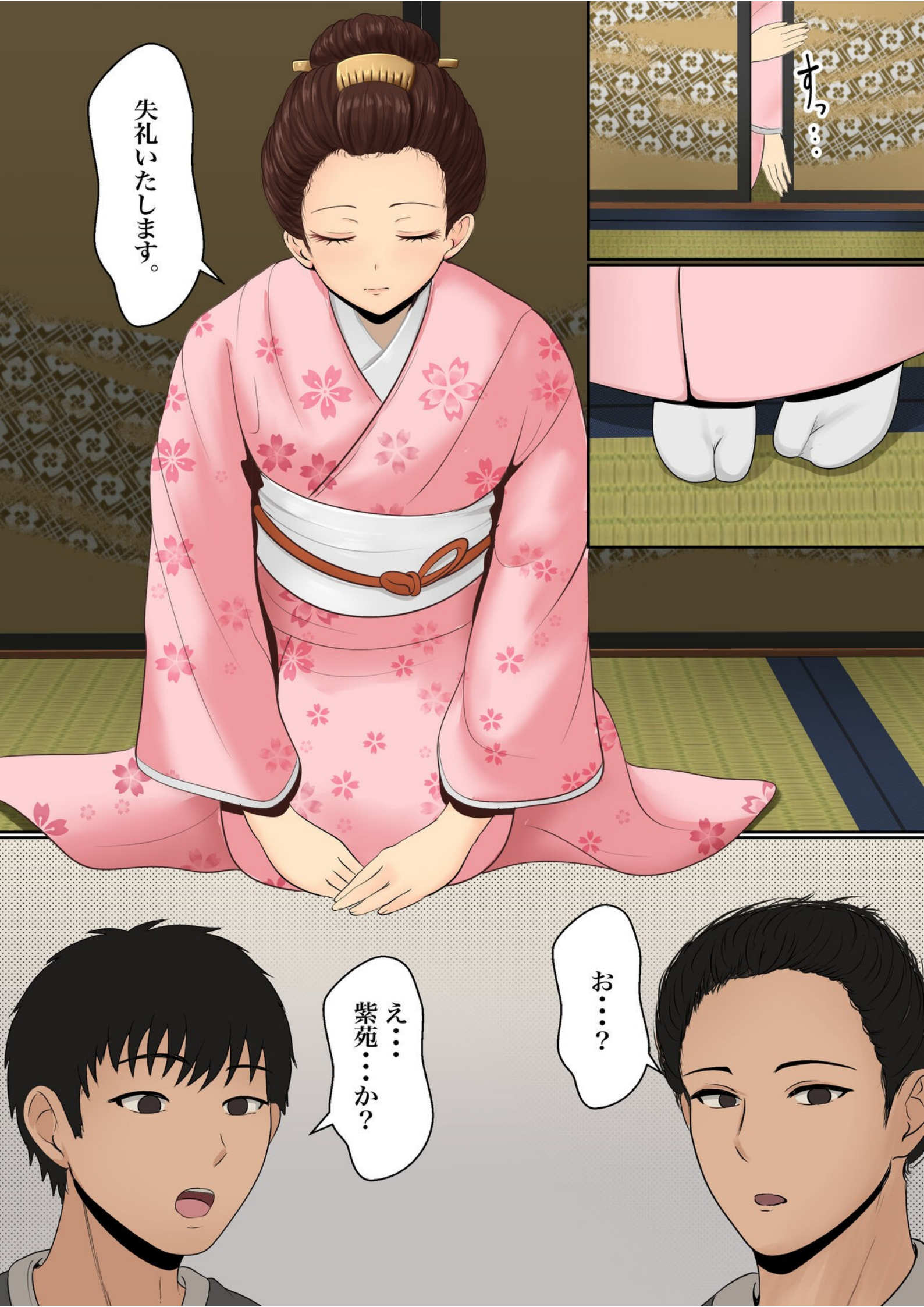
初めてを捧げ、毎晩修行を共にする
ひゅうがに好意を抱き始めた紫苑は、
修行が終わった後も、彼に抱かれることを
求めるようになる。

新蔵は自分を置いて、
大人の女性になっていく
紫苑をただ見守ることしか
出来なかった。


…その一ヶ月後

本日の鍛錬、ここまで！
各組に別れて、夕食の時間だ！

おお、今夜はご馳走ですねお師匠様！
うむ。琴葉（ことは）の任務が無事に終わり、大殿様から里にご褒美を賜った。
ん…紫苑はまだか？

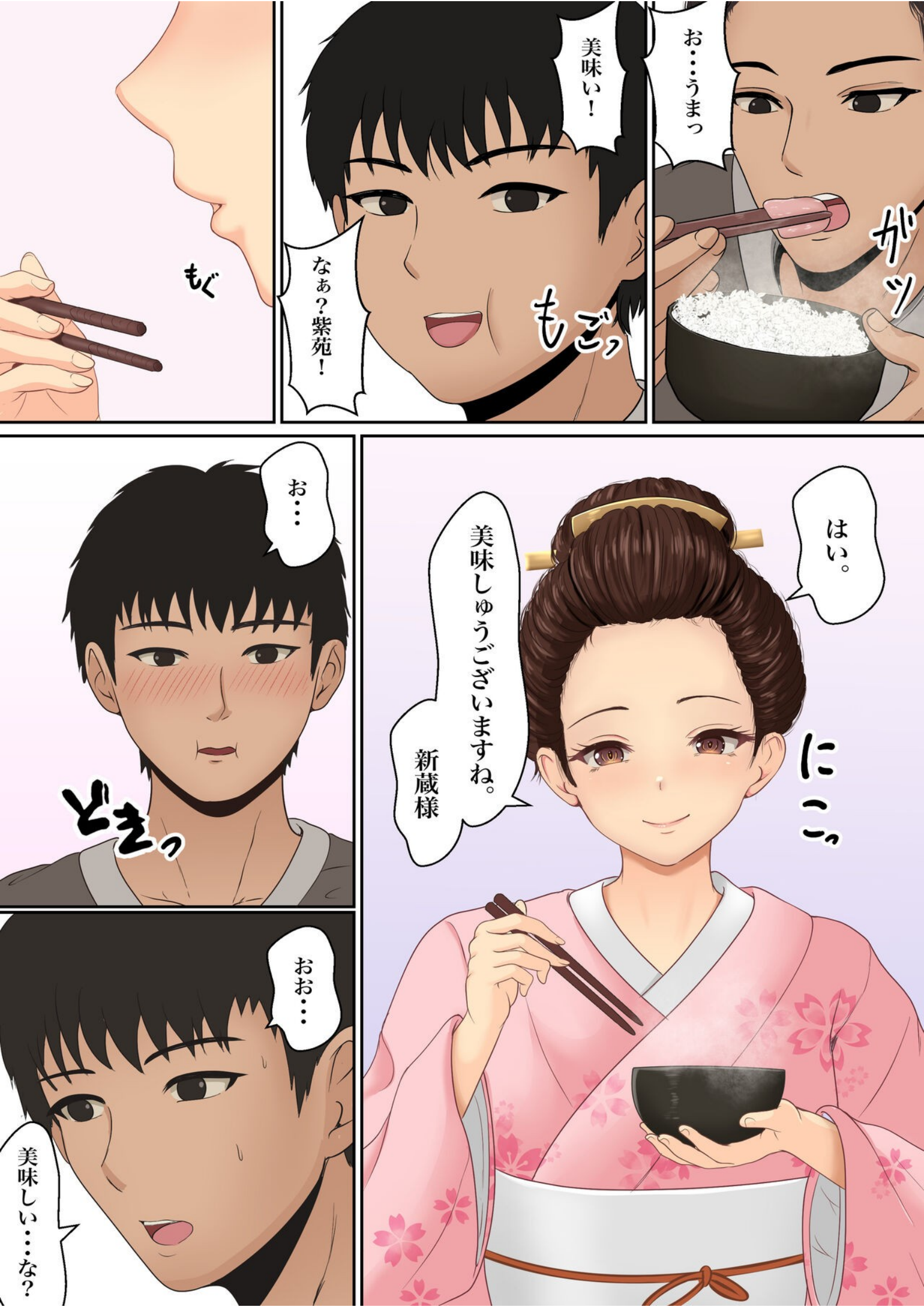

すっ…
失礼いたします。
お…？
え…
紫苑…か？

ふむ、
そろったな。
ではいただこう

いただきます

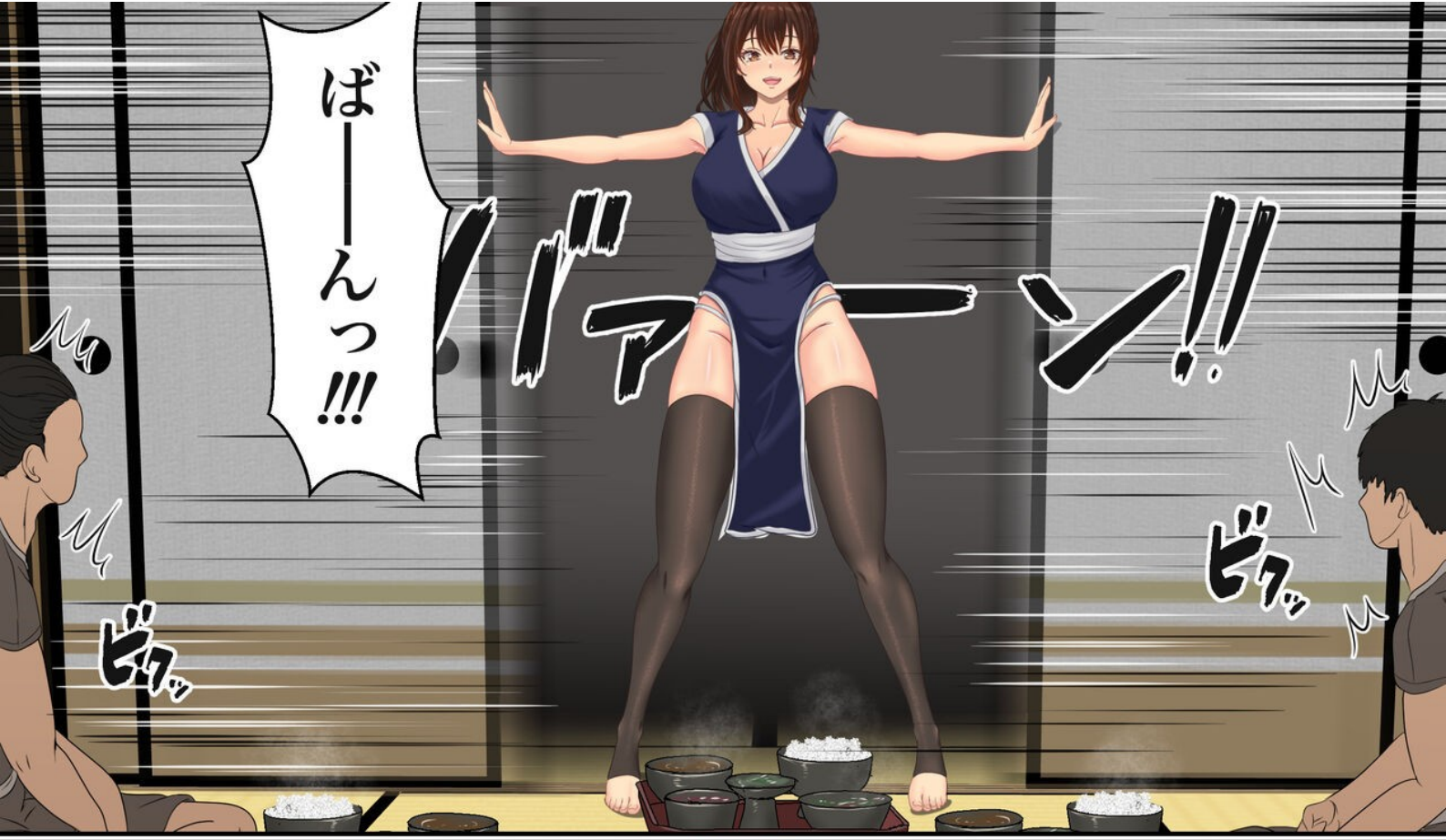
い・・・
いただきます・・・
ちら
ちらっ

はい
いただきます


お・・うまっ
ガツ
美味い！
もごっ
なぁ？紫苑！
もぐ
はい。
美味しゅうございますね。
新蔵様
にこっ
お・・・
どきっ
おお・・・
美味しい・・・な？

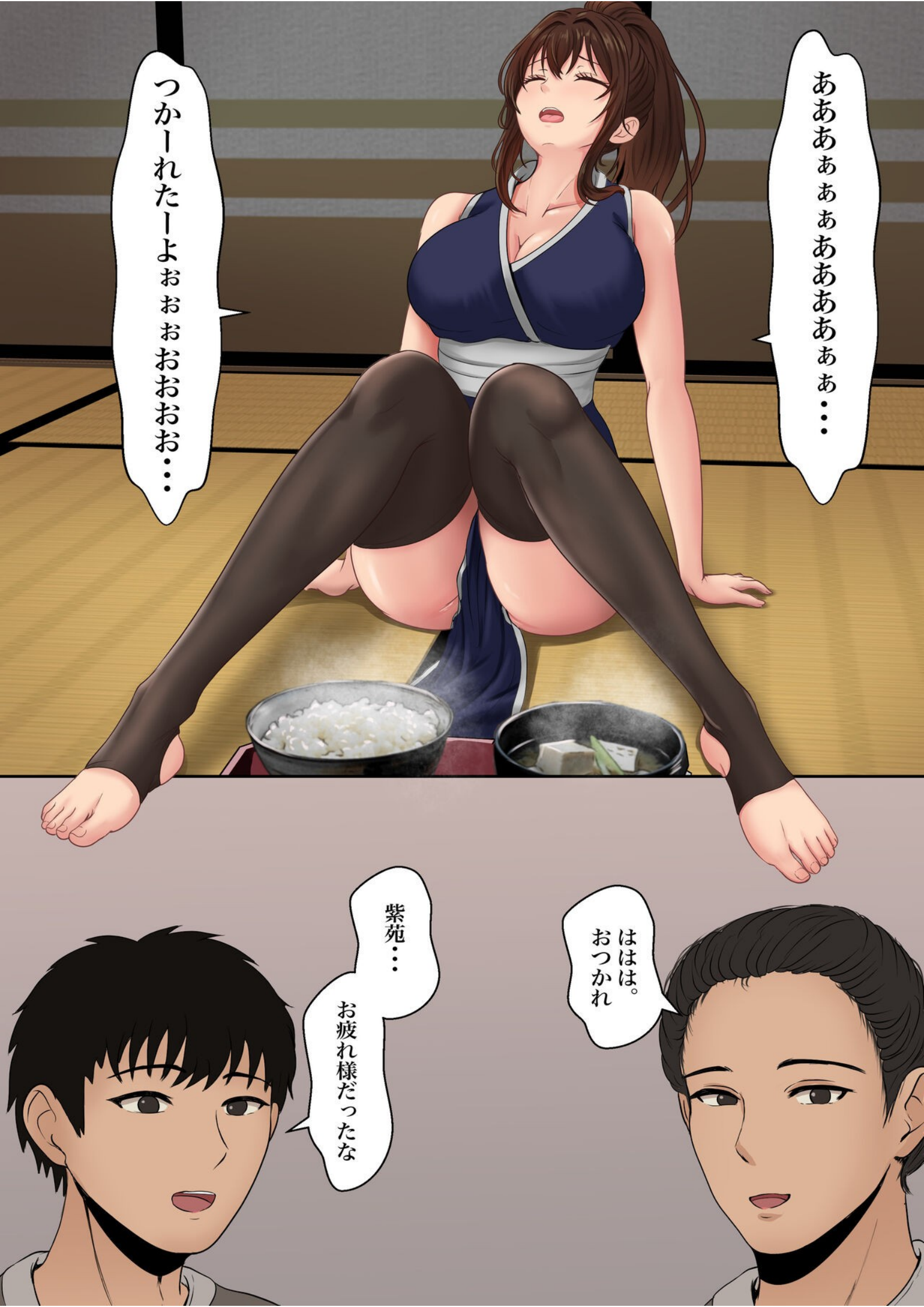
玄海様
お食事のところ
失礼いたします。
緊急任務の話があるので、
至急お頭様の部屋に、
とのことです。
…なんだ？
分かった。
すぐに伺うと伝えろ
はっ
聞いた通りだ。
お前たちは
ゆっくりと
食べるがよい。
紫苑。
もう良いぞ。
着替えてきなさい
かしこまりました。
お師匠様、
お疲れ様でございます。
すっ
では、少々…
失礼いたします。

パタン
ふぅ…
びっくりしたね
ああ…
武家娘に変装する
訓練だな。
あいつなら
どこぞの姫にでも
変装できそうだ
うん…
なんか紫苑じゃない
みたいだった
なんだかどんどん
俺の知らない紫苑に
なっていくみたいだ。
大人の女になっていく…
兄貴に抱かれる
ようになってからだな…
ズキッ

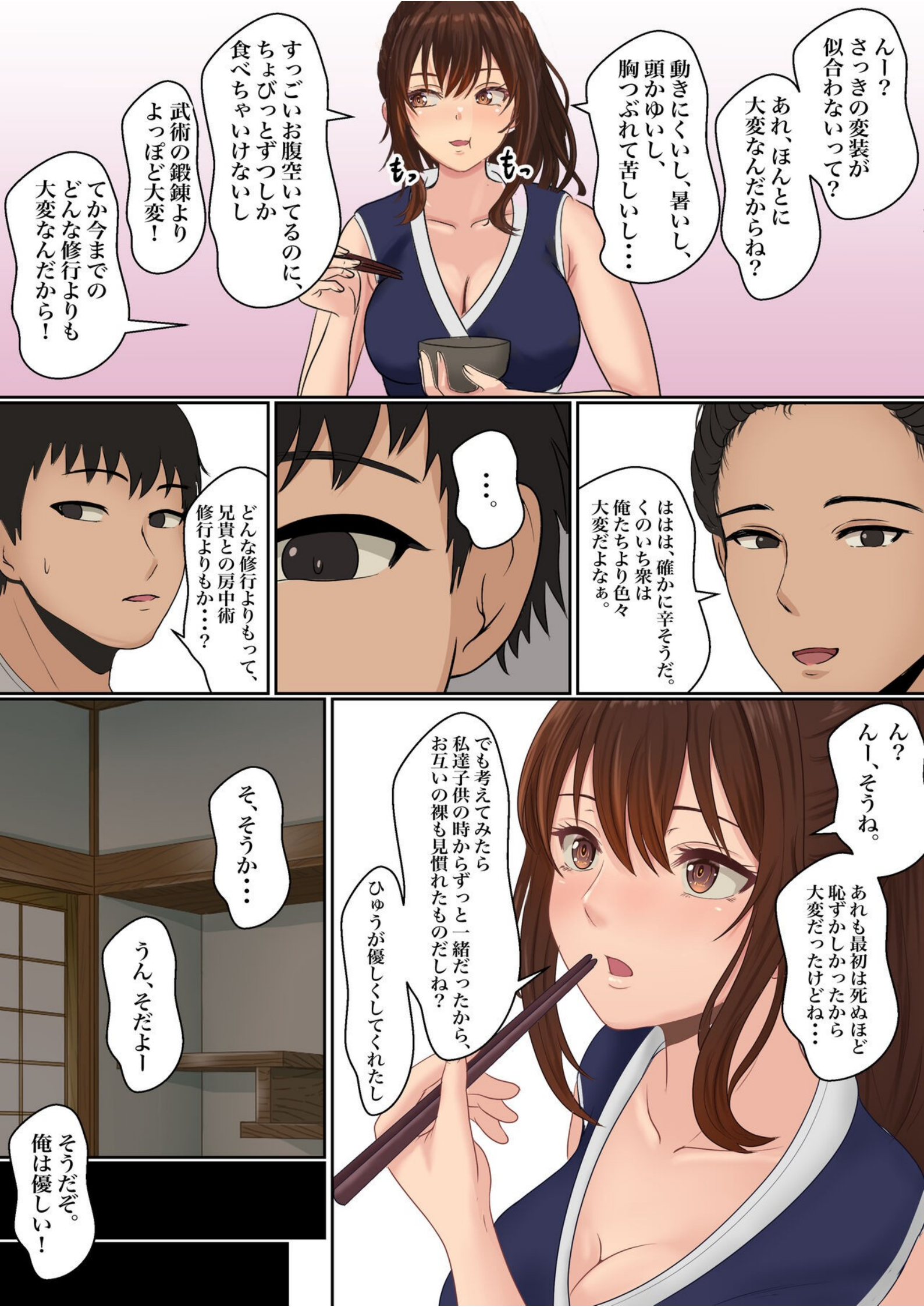

ば――んっ!!!
バァーン!!
ビクッ
ビクッ

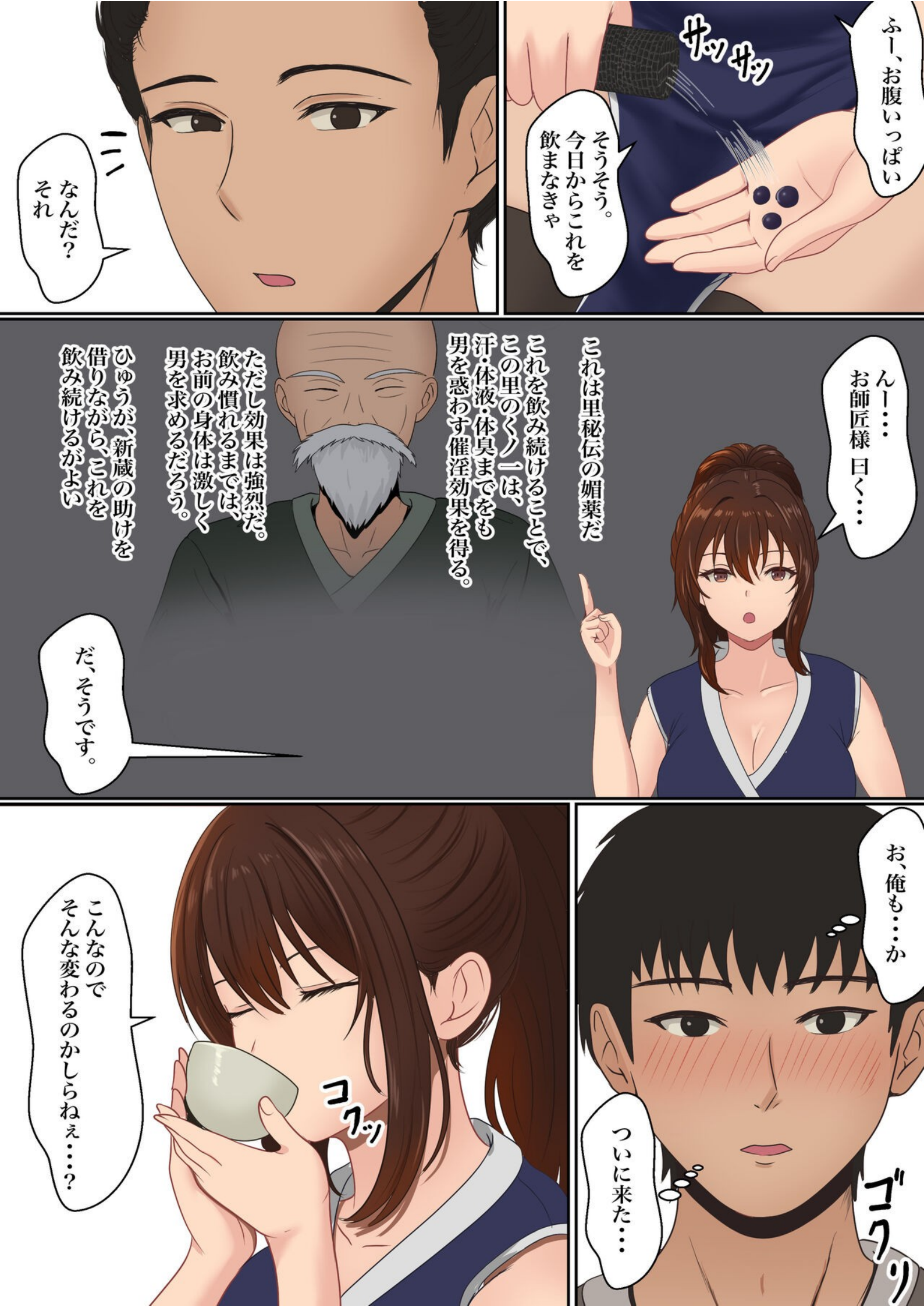
き、着替え、早…
くのいち紫苑
参上！
いや、忍びが派手に名乗って、参上って…

よいしょ
トスッ

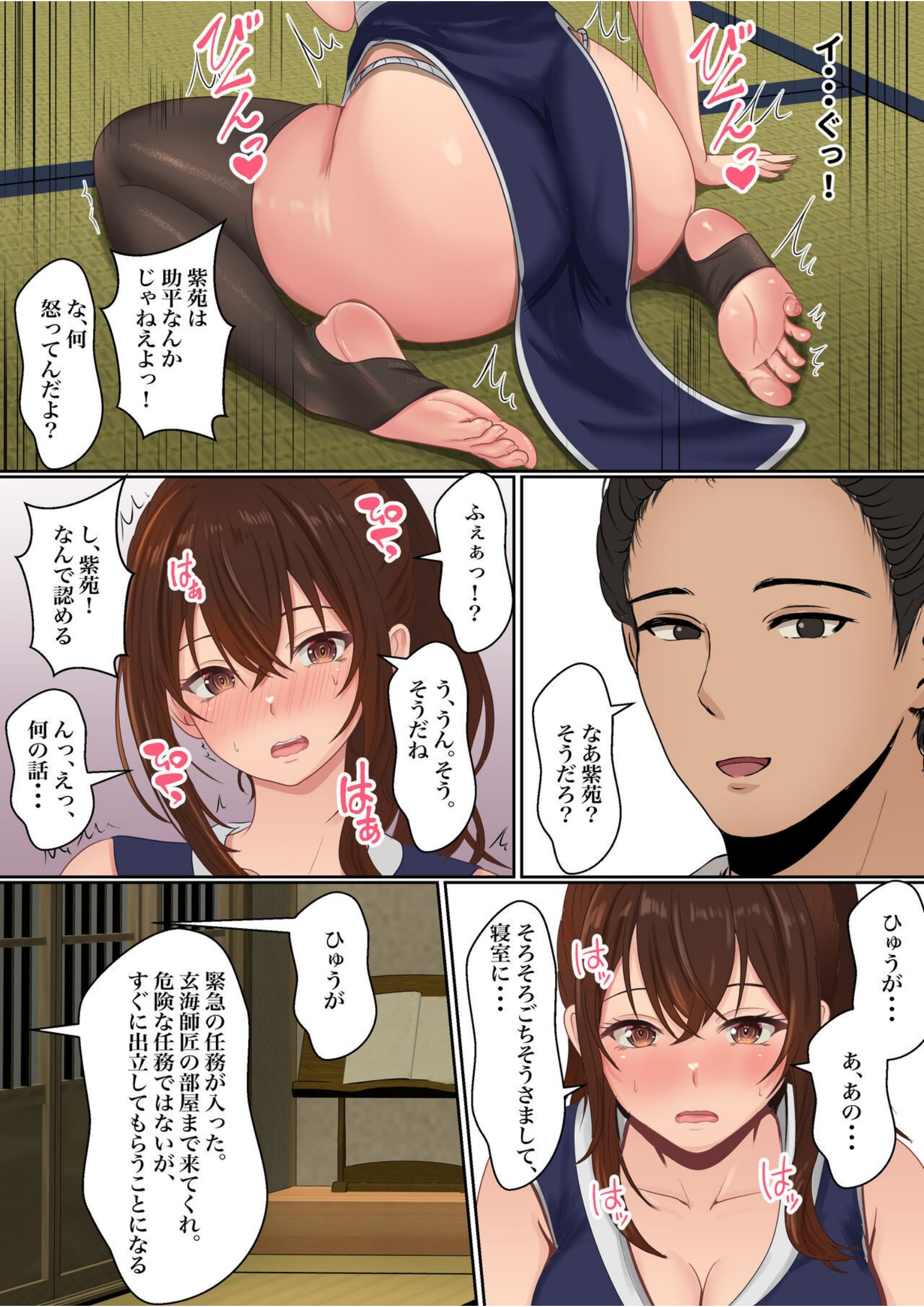

あああぁぁぁあああぁぁ・・・
つかーれたーよぉぉおおおお・・・
ははは。おつかれ
紫苑・・・
お疲れ様だったな

さぁー
食べるよぉー
ご馳走～♪
かぷっ
んふ～
うまぁ～
もっ
もっ
んん？
はに、笑っへるほほ？
いや・・・
紫苑は紫苑のまま
だったなと思ってな
ぷっ・・・
ははは

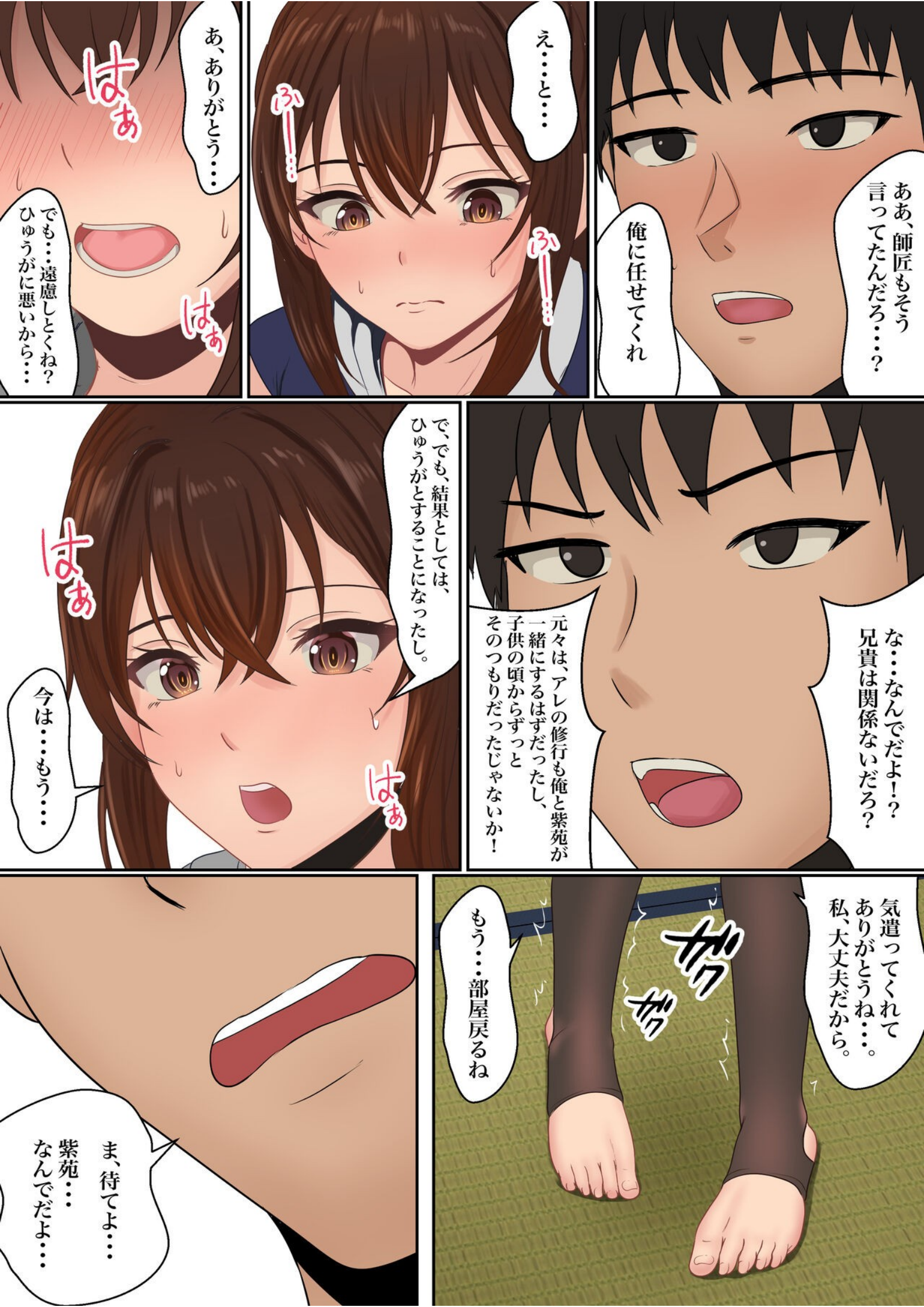

んー？
さっきの変装が
似合わないって？
あれ、ほんとに
大変なんだからね？
動きにくいし、暑いし、
頭かゆいし、
胸つぶれて苦しいし・・・
もっ
もっ
すっごいお腹空いてるのに、
ちょびっとずつしか
食べちゃいけないし
武術の鍛錬より
よっぽど大変！
てか今までの
どんな修行よりも
大変なんだから！
ははは、確かに辛そうだ。
くのいち衆は
俺たちより色々
大変だよなぁ。
・・・。
どんな修行よりもって、
兄貴との房中術
修行よりもか・・・？
ん？
んー、そうね。
あれも最初は死ぬほど
恥ずかしかったから
大変だったけどね・・・
でも考えてみたら
私達子供の時からずっと一緒だったから、
お互いの裸も見慣れたものだしね？
ひゅうが優しくしてくれたし
そ、そうか・・・
うん、そだよー
そうだぞ。
俺は優しい！


ふー、お腹いっぱい
サッサッ
そうそう。
今日からこれを
飲まなきゃ
なんだ？
それ
んー…
お師匠様 曰く…
これは里秘伝の媚薬だ
これを飲み続けることで、
この里のくノ一は、
汗・体液・体臭までをも
男を惑わす催淫効果を得る。
ただし効果は強烈だ。
飲み慣れるまでは、
お前の身体は激しく
男を求めるだろう。
ひゅうが、新蔵の助けを
借りながら、これを
飲み続けるがよい
だ、そうです。
お、俺も…か
ゴクリ
ついに来た…
コクッ
こんなので
そんな変わるのかしらねぇ…？

どうだ…？
効いたかっ！？
んー、
別に何にも…
ドクン
なーんだ。
紫苑が今以上に助平になると
思って期待したのに…
兄貴！
そういう言い方は…っ
ん？新蔵だって
知ってるだろ？
紫苑がすごい助平なの
キュン
キュン
ひく
ひく
ごぽっ
あれよりもっとだぞ？
お前も見てみたいだろ？
え…
うそっ…
ちょっと待っ…
ぞく


イ…ぐっ！
びんっ♥
びんっ♥
紫苑は助平なんかじゃねえよっ！
な、何怒ってんだよ？
なあ紫苑？そうだろ？
ふぇぁっ！？
ぴくっ
はぁ
し、紫苑！なんで認める
う、うん。そう。そうだね
はぁ
ぴくっ
んっ、えっ、何の話…
ひゅうが…
あ、あの…
はッ
はッ
はッ
そろそろごちそうさまして、寝室に…
ひゅうが
緊急の任務が入った。玄海師匠の部屋まで来てくれ。危険な任務ではないが、すぐに出立してもらうことになる

分かりました。
すぐ出立の準備をして、伺います
そ、そんな…
はー…
はー…
あっ、駄目またっ…
い…くぅっ
びくんっ
びくんっ
どきどき
じ…
な、なぁ紫苑顔が赤いぞ。息も荒いし薬、効いてるんだろ？
兄貴もいないし、俺が抱いてやるぞ？俺の部屋に行こう
はぁ
はぁ
はぁ
えっ…？新蔵が…？


ああ、師匠もそう言ってたんだろ…？
俺に任せてくれ
え…と…
ふー…
ふー…
あ、ありがとう…
はぁ
はぁ
でも…遠慮しとくね？ひゅうがに悪いから…
な…なんでだよ!?兄貴は関係ないだろ？
元々は、アレの修行も俺と紫苑が一緒にするはずだったし、子供の頃からずっとそのつもりだったじゃないか！
で、でも、結果としては、ひゅうがとすることになったし。
はぁ
はぁ
今は…もう…
気遣ってくれてありがとうね…。私、大丈夫だから。
ガク
ガク
もう…部屋戻るね
ま、待てよ…紫苑…なんでだよ…

ぱたん
ヤバい
ヤバいヤバい
ヤバいヤバい
びくん
びくん
キュン
キュン
まさか飲むだけで
イッちゃうなんて
どうしよう、耐えられない
ほどにお腹が疼く・・・
ちょっとだけ・・・
手で自分で・・・？
すっ・・・
とろぉ・・・

ズ
メンッ

だめだめだめだめ！
はー…
ズ～ン…
はぁ
ズ～ン…
女子が自分で股を弄るなんて、
そんなふしだらすぎること…

お風呂…
とりあえずお風呂に
入ってまぎらわそう！
ズ～ン…
…痛ぁぁぁ

ざぱあ
パシャ
パチ
チャプン

ふう…
良かった。
ちょっとだけ落ち着いた…
チャプ

ん…？
ガラガラ
パチャン

しかし、どうしたものかな…
こんなの毎日飲むの、ひゅうががいないと耐えれるとは思えない…
ぶく
ぶく

あら！
紫苑ちゃん久しぶり！
ことは
琴葉さん！
お疲れさまです！
任務から帰られてたんですね！

うん、城務めの武士を篭絡して、
謀反の情報を聞き出しただけ。
楽勝だったよ～
あぁ～
生き返る～
温泉があるのだけは
この里の良いとこよねぇ～
そうだ…
琴葉さんなら
どうすればいいか
分かるかも
あの琴葉さん、
ちょっと相談が
うん？
実は…

あーなるほどねぇ。
確かにあの薬は強烈だからね…
私も最初飲んだ時は、もうとにかくオチンチンのことしか考えられなくなったな
オチン…。
はい…そうなんです…
あれね…飲んだ瞬間もすごいけど、身体に吸収され始めてから、もっとやばいんだよ。
多分、この後だね
そうなんですか!?
どうしよう琴葉さん。私、絶対耐えられない…
ひゅうがと新蔵に、抱いてもらえばいいじゃない?
師匠にもそう言われたでしょう?
でもひゅうがは今、任務で留守にしてるんです
新蔵は?
新蔵は…ひゅうがに悪くて…
ん…?
…。
ひゅうが以外に抱かれるのは…嫌なんです
ん?ん?
…紫苑ちゃんは、初めての相手はひゅうが?
はい。
ひゅうがにはいつも抱いてもらってるの?
はい…
あー…
なるほど…

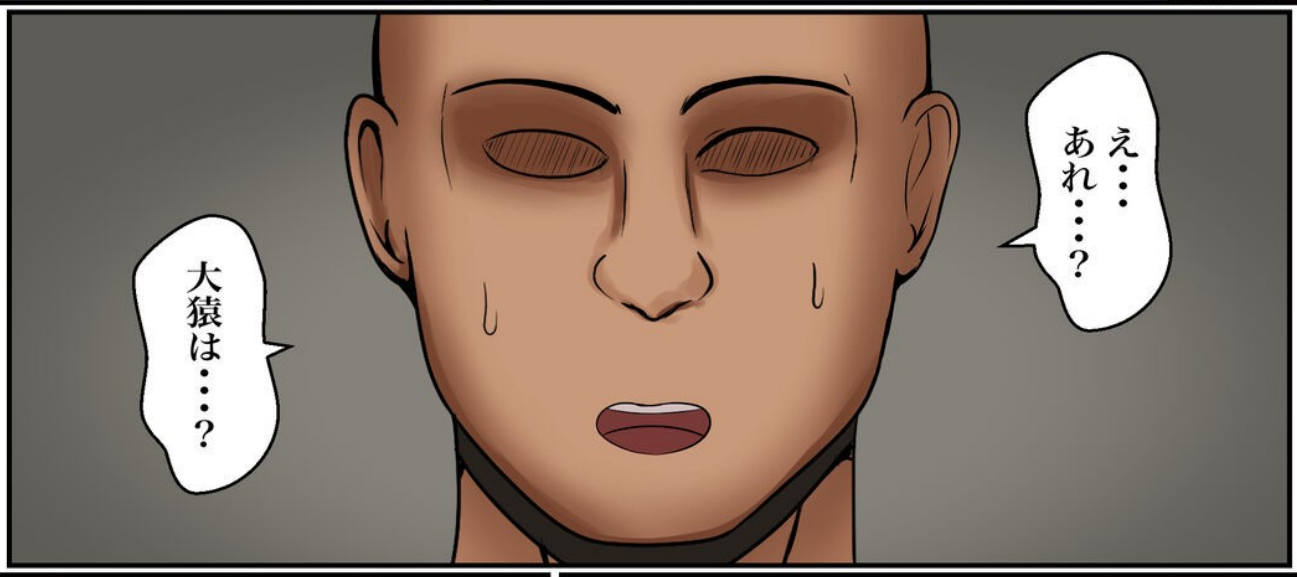
そっか…
紫苑ちゃん、ひゅうがのことを…
うーん、良くない!
良くないよぉ紫苑ちゃん。
くのいちが恋をしたって…
辛い思いをするのは紫苑ちゃんなんだよ…?
くのいちは誰にでも股を開く女にならなきゃいけないんだから…
なんとか傷つく前に紫苑ちゃんにひゅうが以外のオチンチンの良さも知ってもらわないと…

あ、そうだ！
私がいつもお世話になってる按摩治療師がいるんだけど
その人を紫苑ちゃんに紹介してあげる！
按摩・・・ですか？
身体を揉んでほぐしてくれる・・・？
あの、按摩って私、行ったことないんですけど、そんなのでコレが治まるんですか？
まぁまぁ、ここは琴葉お姉さんを信じなさい！
その人は名医だからね。治療で思いっきり気持ちよくしてもらえば、絶対治まるよ！
ちょうど私これから行くとこだから、そうだな・・・
※一刻(約2時間)したら、そこの集落の東端の庵に行ってみて！

パン
んっ
あっ
パン
パン
んっ
あぁ～気持ち
よかった…
やっぱり栄西殿の
技は一流だ…
ははは。
ありがとうございます。
琴葉殿もいつもながらの
見事なイキっぷりで。
もう一発、
やりますか？
はー…
んん、今日はもう大丈夫～。
さっき言った通り後輩の
紫苑ちゃん来るから、
子種、温存しといて。
なるほど。
で、どんな娘なんです？
その紫苑殿とは
はー…
んー、そうね…
はッ
あとすごい怪力。
どこからそんな力
出てるのって感じ。
はッ
めっちゃ、
すばしっこい。
胸もでっかいな。
はッ
怪力で、すばしっこくて、
男衆誰よりもですか…
大猿か…？
まず、素直で
良い子。
んでとにかく強い。
男衆含めて、里の
誰よりも強いかな。
普通の按摩治療だって
言ってあるけど、
噂ではすごい感度が
良い子らしいから
思い切りイカせて
あげちゃってね。
な、なるほど…
あまり気乗り
しませんが…

えっと・・・
ここで良いんだよね
ザッ
御免！
栄西殿は
おられますか！
はいはい、
今お開けします
大猿殿が
来たか・・・

あ、夜分に失礼します。
琴葉さんに紹介いただいた、紫苑と言います。


え…あれ…？
大猿は…？

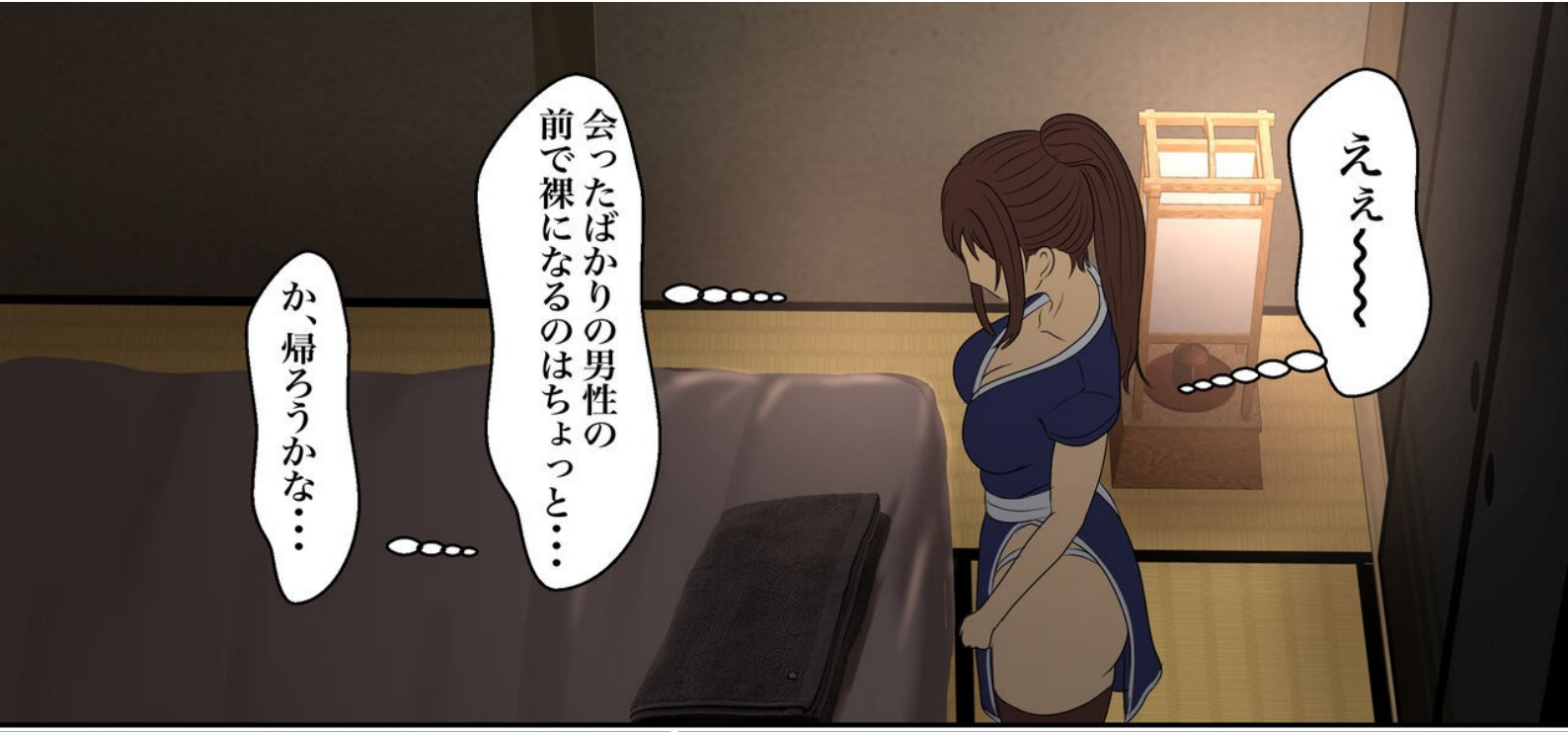
は…？
大猿…ですか？

これは…なんて美しさだ
あぁ！いえ、なんでもありません。
ささ、上がってください

では、早速、
治療を始めましょうか。
お召し物を全て脱いで、
ここにうつ伏せに
寝てください

ぇっ!?
全部？
按摩って、
裸になるんですか…？

ええ、もちろんですよ。
裸にならないと
治療が出来ません。
もしあれでしたら、
お身体はこちらの布で
お隠しください。
私は施術準備をして
まいりますので、
少々失礼しますね。


えぇ～～～
会ったばかりの男性の前で裸になるのはちょっと・・・
か、帰ろうかな・・・

治療は受けなきゃ
布で隠せるなら・・・大丈夫か・・・
パサ

でも紹介してくれた琴葉さんの顔に泥を塗るわけには・・・
それに段々薬が効いてきたみたいで、お腹がやばい・・・

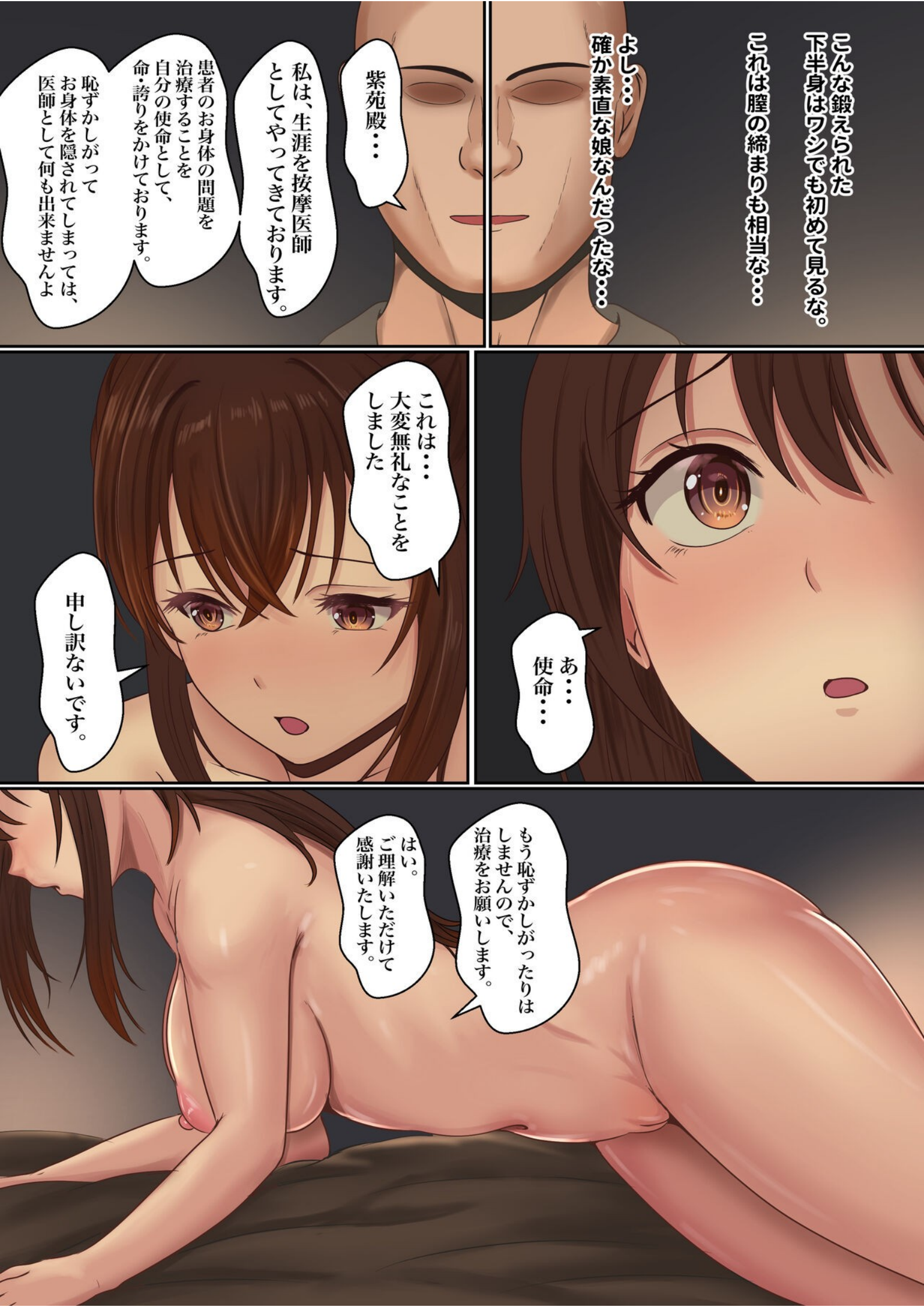
紫苑殿、入りますよ
あっ、はい

する。

ではうつ伏せに。
力を抜いて、楽になってくださいね
はい・・・
身体の血の巡りを良くする精油を使って揉んでいきますね
性感を強くする媚薬も入ってるけど
・・・・・
トロッ

おお、
これは…
凄まじく
鍛えられた
お身体ですね
柔らかいお身体の中に、
鋼のような筋肉がある
ぬるん
ぬる
ふむ…
左の踏み込みが
少し苦手なようですね。
ぐっ
ぐにっ
右小手返しが
課題でいらっしゃると
あ、その通りです…
すごい。
師匠にしかバレてないのに。
背中だけでそんなことまで
分かるとは

では、下半身の方も揉んでいきますね
!?
する。
ちょっと…
し、下は恥ずかしいですよ…
それに布で隠していいって話じゃ…
え…
何今の？
人間って、あの体勢から跳べるの…？
ミシッ
うおっ？


こんな鍛えられた
下半身はワシでも初めて見るな。
これは膣の締まりも相当な…
よし…
確か素直な娘なんだったな…
紫苑殿…
私は、生涯を按摩医師
としてやってきております。
患者のお身体の問題を
治療することを
自分の使命として、
命・誇りをかけております。
恥ずかしがって
お身体を隠されてしまっては、
医師として何も出来ませんよ
あ…
使命…
これは…
大変無礼なことを
しました
申し訳ないです。
もう恥ずかしがったりは
しませんので、
治療をお願いします。
はい。
ご理解いただけて
感謝いたします。

それでは・・・
うおぉ！
かぶりつきたく
なるような身体だ
くっ焦るな・・・
じっくりとだ
気持ち良いですか？
ぬる
にちゅ
はい、とても
心地良いです・・・
ところで、紫苑殿
くにっ
とろぉ・・・
琴葉殿にはなぜ私を
紹介されたのですか？

むにゅ
むにゅ
ぴく

ぬちゅ
実は修行で、
強い媚薬を
飲んだのですが…

ふむ…
お腹の奥ですか…
今もですか？
い、今も…
すごく…
ぎゅっ
ぎゅっ

ぴく
ぴく

その…
お腹の奥がたまらなく
疼くようになってしまい…
はッ
琴葉さんに相談して…
はッ
はッ

ぎゅっ
おっ
ここですかな？
びくんっ
びくんっ
ぎっ ぎっ
おっ!!
んんっ!!
だめっ!!
あっ!!!
トントントン
トントン
ガク ガク
ガク
ビクッ
ビクッ

なるほど、分かりました。
んっ♡
んッ♡
女性器の方に、悪い氣が溜まっているようですね。
びくんっ
びくんっ
とろぉ…
鼠径部からほぐしていきましょう
あぁぁぁ！
ぬちゅ
おお…一気に陰核が勃起してきたな
んっ♡
あっ♡
ふっ♡
んぅ♡

おお、美しい…
むにゅ
ぐちゅっ
まだほとんど男を知らんようだな
ぬちゅ
ひくひく
キュンキュン
もう少し焦らすか
はぁ
あのっ！栄西殿！
はぁ
はぁ
真ん中も！
真ん中の方もお願いします！

むにゅ
真ん中と言いますと？
むにゅ
はッ
はッ
はッ
はッ
あの、股の真ん中の…
尖ってるところを…
はッ
なるほど、分かりました。
ではお尻を上げて
もらえますか？
は、早く
早くお願いします
はぁ
はぁ
はぁ
おお、理性が
飛んできてるな
まあ、媚薬を飲んで、
この精油を股間に
塗り込まれたら無理もない

ぬるん
ぬちゅ
そこ！
そこです！
ああっ!!
身体の状態を知る
必要があるので、
イク時は教えて
くださいね。
ぷしっ
ぷしっ
ぷしっ
イキます！
もうイキます！
ガク
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
コンコンコン
コン
びくん
びくん
ガク

中の方も触っていきます
ぬぷっ
あっ！
待ってっ！
少し休憩をっ!!
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ビクッ
ビクッ
づっ♥
づおおおおおお!!

ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
お、噴き始めましたね
はッ
いくっ!!
はッ
はッ
いくっ!!

駄目っ！
びくんっ
プシャアア
出ちゃう！
あああぁ！
びちゃ

いい調子です。
プシュッ
全部出しちゃいましょう
プシュッ
びくんっ
ビクッ
ビクッ
あぁぁああ!!
止まらないっ
ごめんなさい！
ガク
これで溜まっていた
性氣を少し排出
出来ましたね
ガク
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
仰向けになって、
少し休憩しましょうか
う…
あぅ…

少し、恥ずかしかったですね？
はい…
でも気持ちよかったでしょう？
はい、すごく…
あ、あの…
敷物を汚してしまって、申し訳ないです
全然、問題ないですよ。
紫苑殿の体液が汚いと思う男なんていませんよ。
にこ。
さ、治療を続けましょう。
身体中に精油を塗り込んでいきますよ

孤児の私に
もし父上がいたら、
こんな感じなのだろうか…
ぐにっ
ぐにっ

栄西殿…
優しい笑顔だ…
こんな粗相をした私に…
汚くないなんて気を使って
ぬるん
ぬちゅ

あ、乳首…
固く敏感に
なっているからっ…
むにゅ
ぎゅっ

お胸の方も、
ほぐしますね
むにゅ

んっ
むにゅ
ぷくっ
ぷくっ

そうですね。
乳首の神経は、子宮と陰核に
繋がっていると言われていますから
重点的に刺激
しておきましょう
ビクッ
ぎゅっ
あっ、だめっ
ビクッ
ひっぱっちゃっ！
ぎゅっ

はっ
ビクッ
ビクッ
ふぁっ
はうっ
ビクッ

どうしました？
脚が落ち着きませんね
くいっ
くいっ
くいっ
もじ
もじっ
んッ♥
きゅうう♥
くね
くね
ふーッ
ふーッ
あの…
また下の方が…
熱くて
お股の辺りですね。
分かりました

では、少し脚を開いてください。
ぐいっ
う…
かあっ…

ふむ…
紫苑殿は、陰核に少し皮が被ってらっしゃる様子ですな
あ…あの…栄西殿…？
はぁ
はぁ
はぁ
あまりじっくり見られるのは…

皮を向いて、根本の方まで精油を塗り込んでいきましょう

えっ…!?

ちょっ…そこ…剥いて大丈夫な…？

ぷるん♥

ぐっ

ぐにっ

少し…強烈ですよ…？

びくんっ♥

おっ!!!

おりんっ♥

びくんっ♥

ちゅっ

くっ

びくんっ♥

おぉおおおお!!
くちゅ
くちゅ
くちゅ
あぁぁぁ
あああぁ!!!
びちゃ
びちゃ
か・・・
は・・・
気持ちいいでしょう?
さらに陰核が
膨らんできましたよ
ぴく
ぴく
ガク
ガク
ガク
ガク
ガク
ぷしゅ

陰核が膨らむと
中の感度も更に良くなっていきますよ
ぐちゅ
ぐちゅ
あっ♡
ぬちゅ
ぬちゅ
むにゅ
はっ♡
んっ♡
はぁっ♡
はぁっ♡
少し早く動かしていきますね
にちゅ
にちゅ
ぐりぐり
はッ
んッ♡

さぁ存分に気持ち
よくなってください
はぁ
はッ
はッ
はッ
はぁ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ぐにっ
ぬちゅ
ぬちゅ
どんどん紫苑殿の
温かい蜜が溢れてきてますよ
ぞくっ
ぞくっ
ぞくっ
ぞくっ
栄西殿っ！
いくっ!!
いぎますっ!!!
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ

あっ♡
びくんっ
びくんっ
びくんっ
あっ♡
あっ♡
びくんっ♡
びくんっ♡
こりゃすごいな…。まるで鯨だ
とろぉ…
ぐにっ
ぐにっ
ふーっ
ふーっ
ふーっ

ぐいっ
紫苑殿 あまり身をよじられると、爪が立って危のうございます
脚を抱えて、じっとしていてください
ぐっ
はぁ
はぁ
う・・・ う、ごめんなさい
はぁ
はぁ
ぐちゅ♡
ぐちゅ♡
ぬぽっ ぬぽっ ぬぽっ
ぐちゅ♡
にちゅ
ぐちゅ♡
はっ
あっ♡
あっ♡
にちゅ

ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぎゅっ
ぐちゅ
もうだめええええええっ!!!
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
シュコ
シュコ♡
ぎゅゅゅ
んっ
んブブブブ!!
びちゃ
びちゃ
びちゃ
はッ
あッ
びくんっ♥
びくんっ♥

むぁ…

紫苑殿の汗と愛液の匂いが部屋中に充満して

はー…

流石に俺も限界だ…

これだけ焦らせば、もう大丈夫だろう

身体のお具合はどうですか？

少し症状は落ち着きましたか？

はッ

はッ

はッ

ぬちゃあ

栄西殿…

はぁ

はぁ

イカせてもらう度に、どんどんお腹の奥が熱くなって辛いです…

私の身体…おかしくなったのでしょうか？

はぁ

よし…

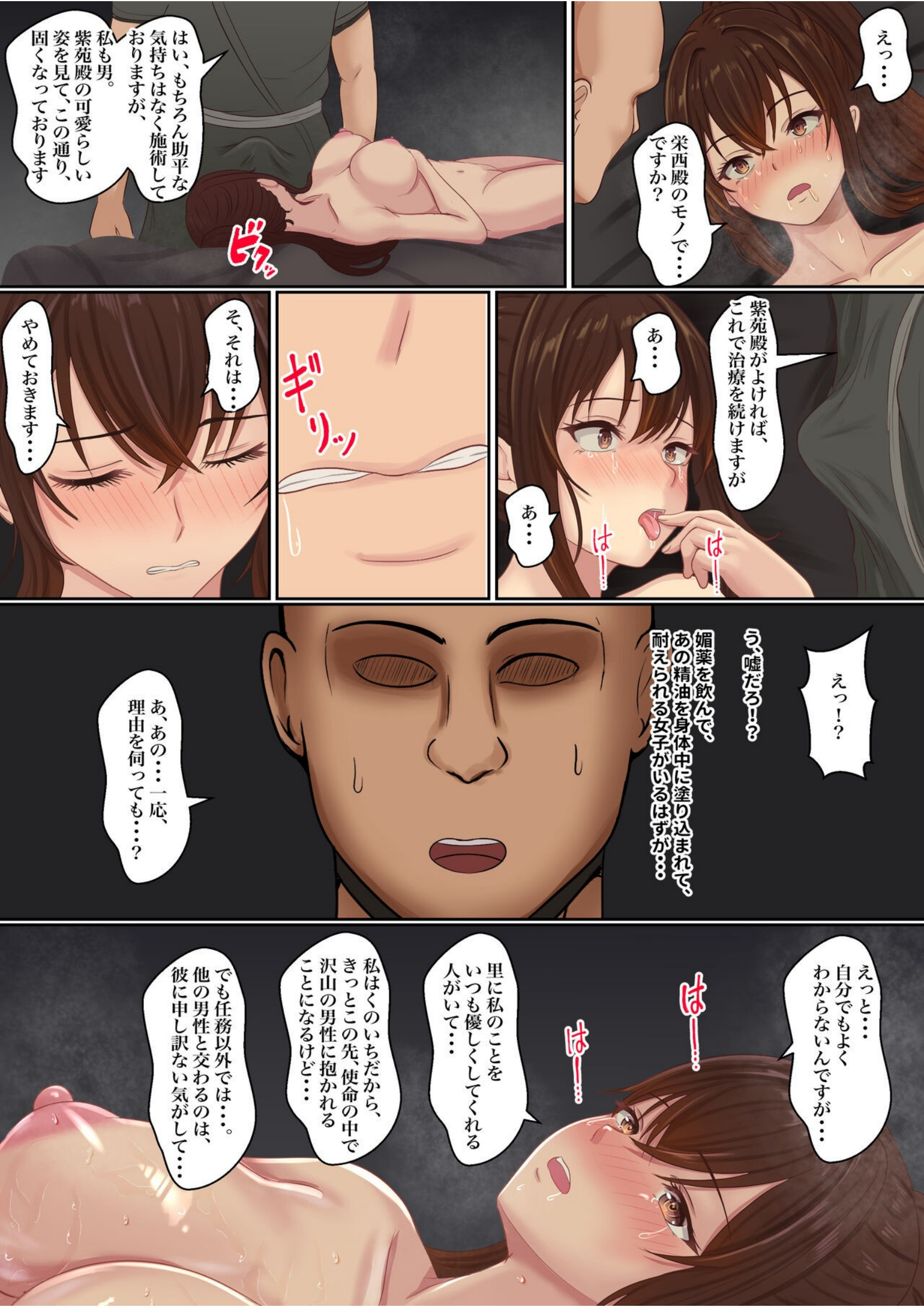
はー…

はー…

女壺の一番奥ですね？

実は、そこをほぐすのが一番大切なのですが、私の指では短くて届きません。

ですので、そこを治療するには、私の、一物を入れる必要があるんですよ


えっ…
栄西殿のモノで…ですか？
はい、もちろん助平な気持ちはなく施術しておりますが、私も男。紫苑殿の可愛らしい姿を見て、この通り、固くなっております
ビクッ
紫苑殿がよければ、これで治療を続けますが
あ…
あ…
は…
ギリッ
そ、それは…
やめておきます…
えっ!?
う、嘘だろ!?
媚薬を飲んで、あの精油を身体中に塗り込まれて、耐えられる女子がいるはずが…
あ、あの…一応、理由を伺っても…？
えっと…自分でもよくわからないんですが…
は…
は…
里に私のことをいつも優しくしてくれる人がいて…
私はくのいちだから、きっとこの先、使命の中で沢山の男性に抱かれることになるけど…
でも任務以外では…。他の男性と交わるのは、彼に申し訳ない気がして…

で、ですが…、このままでは。
紫苑殿の身体には
限界が来ています。
今の状態で剣術の鍛錬が
出来るとは思えないでしょう？
このままでは忍びとしての
使命を果たせなくなります

そ、それは困る…
ずっとそのために
生きてきたから…

ですから、
治療が必要なんです
それにこれは
男女の交わりでは
ありませんよ？
医療行為ですから、
彼に罪悪感を感じる
必要はありません

琴葉殿も、何人かの
他のくのいちの方も
そうしておられます。
使命のためには、
適切な医療も大切です

他のくのいちもですか…

栄西殿は名医だからね！
思いっきり
気持ちよくして
もらいなよ！

確かに…
男女の交わり
ではないのか…

あの…
このことは誰にも…？

もちろんです。
医師として患者の守秘義務は絶対です

分かりました…

ひく
ひく
キュ
キュ
想像しただけでっ
はッ
ぴく
ぴく
治療を・・・
お願いします
よ、よしっ
良かった・・・
分かりました紫苑殿！
では、挿れますよ
どきどき
はぁ
はぁ
は・・・はい・・・

ぬちゅ
むにゃ
むにゃ
ズーーーーーっ…
はっ
ズッ♥
ずぶんっ♡
びくんっ♥
びくんっ♥
ギュゥゥ♥
ぐう…熱っ…
ギュゥゥ♥
びくんっ♥
あっ
あっ

紫苑殿っ!!
締まりが
強すぎるっ!!
ズッ
ズッ
ズッ
ぶるん
ぶるん
はッ
はッ
はぁ♡
はぁ♡
はッ
あっ♡
あっ♡
あっ♡
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぐちゅっ
ぐちゅっ

おっ!!
おぉぉおお!!
いくうっ!!
いくう!!
ぬぽっ
ぬぽっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ああ、紫苑殿の下品な顔・・・
俺の技で美人の顔が台無しになっていくのを見るのは最高だ
ズブッ
ズブッ
ズブッ

ちゅうう
ぎゅっ
ぎゅっ
くっ、なんて吸い付きだ
びんっ♥
びんっ♥
びちゃ
びちゃ
ガク
ガク
ガク
ガク
ガク
子宮が吸い付いてる
精子をねだっているのか…っ
ガク
ガク
ガク
はッ
はッ
はー…
はー…

パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ぎゅっ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

ぐぽっ
ぐいっ

ぬぽっ
ぬぽっ
ぬぽっ
ぬぽっ
ぬぽっ

ズンッ
一番奥、突きますよ
ぐぐぐ…
うあぁ…っ
深いぃっ
びくんっ
びくんっ
ぐりぐり
あ…怖いっ…
変なイき方しそうですっ…
はッ
はッ
はッ
はッ

大丈夫ですよ！
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
おっ♡
おっ♡
思い切りイッてください
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
おっ♡
おっ♡
私も、出そうです！
あっ、な、中に！奥におねがいします！
はッ
はッ
はッ
はッ

ちょろ…
ちょろろろ…
ズポッ
ごぽぽっ
紫苑殿？
大丈夫ですか？
あらら…
意識飛んで
失禁して
しまいましたか
ぴくっ
ぴくっ
むくっ
じょばばば…
ぴくっ
ぴくっ
なら…もう一発、
出させて
いただきますね
ぬぷっ
びくんっ
びくんっ

はぁっ
はぁっ
はっ♡
はッ
はぁっ♡
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
もう何をしてるかも分かってなさそうですね
ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ
なら口を吸っても…
ふーッ
ふーッ
ふーッ
ちゅうううう
ああ…甘い虜になりそうだ…
くちゅくちゅ
ふーッ
はぁ
はぁ
はぁ
おお、しがみついてくる
ぎゅみ♥
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ

ずっと抱き続けていたいのに
ちゅぱっ
ちゅぱっ
んッ♥
んッ♥
んッ♥
温かい肉壁が一物に絡みついて
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
はッ
はッ
はッ
すぐに搾り取られてしまうっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぬちゅ
あっ♥
あ♥
あ♥

ぐちゅ
ぱぁんっ
ぱぁんっ
ぐちゅ
ぱぁんっ
びくんっ♥
びくんっ♥
おっ
おっ
おっ
ずちゅっ
ずちゅっ
ぶるん
おッ♥
はぁ
はぁ
おはっ♥
ぶるん
ぐちゅ
ぐちゅっ

ビュルル
ビュルル
びくんっ♥
びくんっ♥
ドプッ
ごくっ…
ドプッ
ごくっ…
ドプッ
あぁ〜〜ッ♥
プシャアア
びちゃ
びちゃ
びちゃ

しかし、沢山の女を抱いてきた俺が簡単に虜にされるとは…

末恐ろしい娘だな

栄西殿。おかげさまで、身体もかなり治まりました
本当に助かりました…
はい。良かったです。
あの…私、途中から意識失ってしまって…
お見苦しいところをお見せしたと思います。申し訳ないです。
部屋も汚してしまって…
全く問題ありません。
紫苑殿の絶頂姿とても可愛らしかったですよ
わあああ…
あう…
と、とにかく、遅くまでありがとうございました。
失礼します。
はい。ぜひ、また治療にきていただけるのをお待ちしております

あとがき

ご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

今回は約２年ぶりにくのいち漫画の続編を描かせていただきました。

前回から２年も経つと絵柄も少し変わるので、キャラを同じ顔に描くのに
結構手こずりました。

それにしてもカラー漫画はやはり、モノクロ漫画と比べて
かなり工数が多いので、しんどいですねえ。

でも紫苑はお気に入りのキャラなので、楽しく描くことが出来ました。
設定上、せっかくの忍び装束をエッチシーンで描けなかったのが
少々心残りではありますが･･･

また続編を描く機会もあるかと思いますので、
その際も是非よろしくお願いします！
（過酷な使命を持つ忍びがテーマではありますが、
普通のイチャラブも描きたかったり･･･）

お願い

もし少しでも面白かったと思っていただけたら、★を付けるだけで
全然結構ですので、是非是非、レビュー投稿をお願いいたします！

(前作にコメント･レビューしていただいた方、本当にありがとうございました。
作家として本当に助かります。)

それではまた。

著者　サンバルキン
発行　サンバルキン
Twitter @sanbalkin1